







琴古流本曲「鹿の遠音 - 五重奏版 -」 The Shakuhachi 5 編曲 (2025)

尺八の古典曲として、もっとも広く知られた名曲。秋の深山に遠く聞こえる鹿の鳴き声が描かれ、そのこだまする様子が尺八によって表現されている。

琴古流の古典本曲で元来二重奏曲だが、曲の旋律・流れをそのままに、5人で演奏出来るように編曲した。特に、第三尺八（都山流パート）の中間部分は、川村葵山による手付（追加作曲）で、琴古流・都山流が共に演奏できるようになっている。

2025年5月16日

「The Shakuhachi 5 NY Concert」(Japan Society)にて世界初演

尺八Ⅰ：小湊昭尚  
尺八Ⅱ：田嶋謙一  
尺八Ⅲ：川村葵山  
尺八Ⅳ：小濱明人  
尺八Ⅴ：黒田鈴尊

2025年6月19日

「国際尺八フェスティバルプラハ2025」(New Town Hall)にてヨーロッパ初演

尺八Ⅰ：小湊昭尚  
尺八Ⅱ：田嶋謙一  
尺八Ⅲ：川村葵山  
尺八Ⅳ：小濱明人  
尺八Ⅴ：黒田鈴尊

2025年7月10日

「JSPN 第6回定期公演」(すみだトリフォニー小ホール)にて日本初演

尺八Ⅰ：小湊昭尚・芦垣皋盟  
尺八Ⅱ：田嶋謙一・阿部大輔  
尺八Ⅲ：武田旺山・吉越瑛山  
尺八Ⅳ：本間豊堂・大山貴善  
尺八Ⅴ：素川欣也・松本宏平

◎ 一、二、四、五パートは記譜に正確に従う必要はなく、奏者は各々の流儀の手にて奏してください。

◎ 三パートは都山流を想定して記していますが、都山流以外の方が奏することも可能です。

※1 乙のレ（音頭に装飾を入れるも可）を三、四、二、五、一パートの順に静かに伸ばし、一パートが旋律を奏するとともに静かに収束する。

※2 各自のタイミングで奏すること。相互に合わせる必要はありません。

※3 前の旋律が完全に終わってから入る。